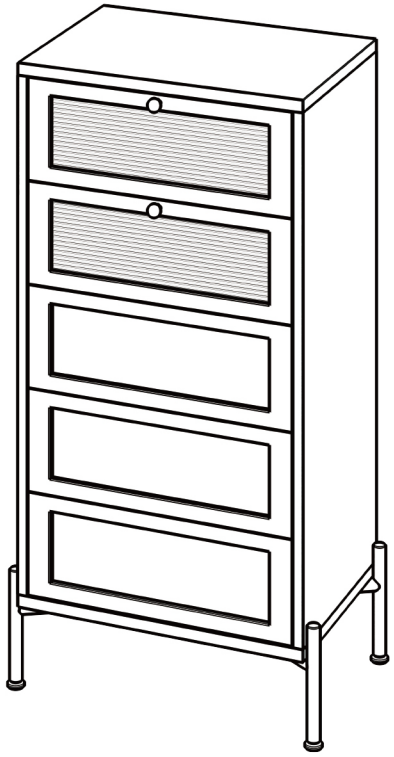
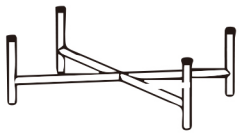
# 木製５段チェスト組立説明書

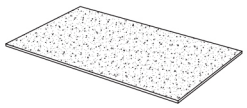


## 部品リスト

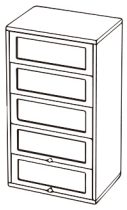
1.



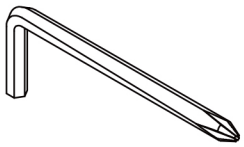
2.



3.



## 金具リスト

| | | |
|---|---|---|
| |  | |
| A.4pcs | B.1pcs | |

## 日常使用時ののご注意

1. 設置について
   家具は、平らでしっかりとした床面に設置してください。傾きやぐらつきがあると
   使用中に転倒や破損などの事故につながるおそれがあります。
   また、湿気の多い場所や直射日光が当たる場所でのご使用はお避けください。変形・ひび割れ・変色の原因となることがあります

2. 耐荷重について
   家具のご使用にあたっては、各製品の耐荷重を守ってご使用ください
   ソファや椅子などに過度の荷重がかかると、破損や事故の原因となります
   また、キャビネットなどの上部に重い物を載せることはお控えください。製品の変形や転倒の原因となるおそれがあります

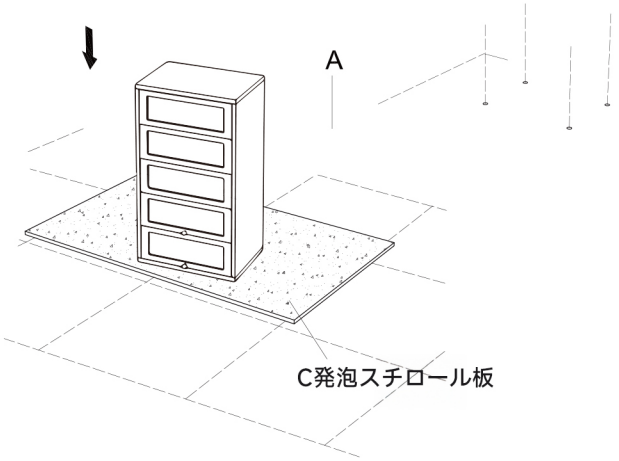
3. 操作上の注意
   引き出しや扉の開閉は、無理な力を加えず、適度な力で行ってください
   無理に引いたり押したりすると、スライドレールや蝶番が破損するおそれがあります
   また、椅子・テーブル・キャビネットの上に立ったり登ったりしないでください。製品の破損や転倒による事故の原因となります

4. 表面の保護について
   木製またはガラス製の家具の表面には、高温の物を直接置かないでください
   耐熱マットやテーブルクロスをご使用いただくことで、表面の保護効果があります

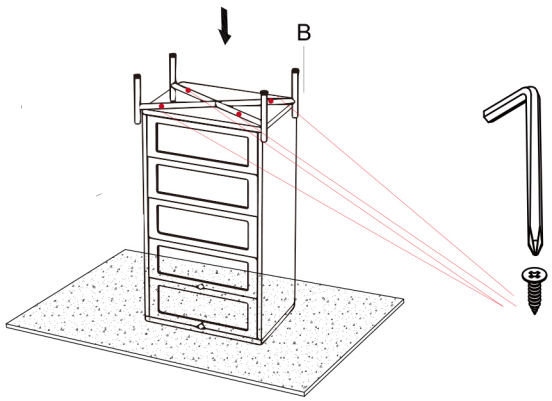
## 本製品を安全にお使いいただくため、組み立てを行う前に、必ず本取扱説明書を最後までお読みください

1. パイプの切断面は鋭利な場合があります。ケガを防ぐため、切り口には直接触れないようご注意ください
2. 製品は、硫酸などの腐食性物質や熱源、火気から離れた場所に設置してください
   また、直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。変形や劣化の原因となります
3. 組み立ておよび設置がすべて完了してから、各ネジをしっかりと締めてください
4. ネジは、最初に軽く仮締めを行い、組み立て完了後に付属の工具を使用して本締めしてください
   ※電動工具のご使用はお避けください。過度に締め付けると、ネジ山が削れたり、部品が破損するおそれがあります
5. 天板を取り付ける際は、必ず指定の短いネジをご使用ください
   誤って長いネジを使用すると、天板の木部が盛り上がったり、破損する可能性がありますので、十分ご注意ください

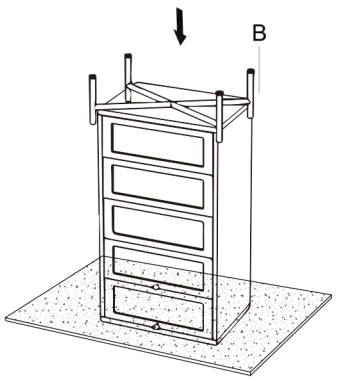
Step1　製品を逆さにして発泡スチロール板の上に置き
塗装面が傷つかないようにしてください

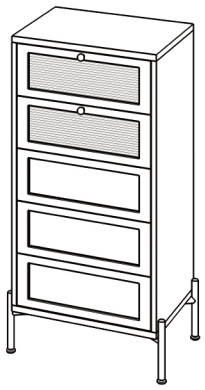



Step2




Step3



## 使用環境に関するご注意

**1. 温度・湿度の管理について**
室内温度は10℃～30℃程度の適温を保ち、極端な高温または低温を避けてください。
また、湿度は40%～60%を目安に管理してください。
※湿度が高すぎる場合、カビの発生につながることがあります。逆に、湿度が低すぎると木部にひび割れが生じるおそれがあります

**2. 直射日光の回避**
長時間にわたる直射日光は、家具の変色や変形の原因となります
設置場所にはカーテンやブラインドなどを使用し、日差しを遮るようにしてください

**3. 特殊な環境についての注意**
暖房機器やストーブなど、火気・熱源の近くへの設置はお避けください。高温により、家具の変形や損傷が生じるおそれがあります
また、アルコール・漂白剤・強力な洗剤などの化学薬品は、家具の表面に直接触れさせないようにしてください
表面の腐食や変色の原因となります

## 素材別注意事項

**1. 木製家具について**
木製家具は、湿気の多い場所や極端に乾燥した環境に長時間放置しないでください
木材の膨張や収縮の原因となります。また、表面に水分が付着した場合は、すぐに乾いた布で拭き取ってください
水分が染み込むと、シミや変形の原因となることがあります

**2. ファブリック家具（布張り）について**
鋭利なものによる引っかきや、ペットによる爪とぎなどはお控えください。布地が破れるおそれがあります
汚れが付着した際は、できるだけ早く拭き取るか、布製品用の専用クリーナーをご使用ください
汚れが奥まで染み込むのを防ぐため、早めの処置をおすすめします

**3. レザー家具（合成皮革・本革共通）について**
汗や皮脂などの油分が長時間付着したままにならないようご注意ください。変色や劣化の原因となります
また、直射日光が当たる場所や、暖房機器などの熱源の近くへの設置は避けてください。乾燥によるひび割れや硬化が生じるおそれがあります

**4. 金属製家具について**
酸性・アルカリ性の液体が付着しないようご注意ください。万が一水分が付いた場合は、すぐに柔らかい布などで拭き取ってください。サビの原因になります
また、重いものをぶつけたり落としたりすると、表面の凹みや塗装の剥がれが生じる可能性がありますので、お取り扱いには十分ご注意ください